



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	小型ネコ科の保全についての世界規模の取り組み：現在何が起きているのか？(Japanese version)
Author(s)	サンダーソン, ジム
Citation	琉球大学21世紀COEプログラム第2回国際シンポジウム「ネコ科研究最前線：その生態の多様性と保全」
Issue Date	2005-08-07
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/2195
Rights	

小型ネコ科の保全についての世界規模の取り組み：現在何が起きているのか？

ジム・サンダーソン (Center for Applied Biodiversity Science at Conservation , USA)

トラやチーターのような大型のネコ科に対する研究と保護の活動は世界中の継続的な支援を受けている。遅ればせながら、現在小型ネコ科の窮状に対する関心が高まってきている。私は世界中の小型ネコ科に関する保護活動の概要を、チリの事例を含めてお話したい。また、現在の活動に対しての議論をし、どこにより多くの資源が向けられるべきかを提案するつもりである。私は資金資源が保護活動を制限しているとは思わない。財源はある。現場での人間および人間と野生ネコ科との関係を扱う精力的な保護活動が必要とされている。政府の政策はしばしば、自然にまかせるよりも人間が自然を管理した方がいいという誤った考えに陥っている。違法な毛皮取引に関する既存の法律の執行も必要とされている。違法な活動を打ち砕くのに、“presence”の重要性を見くびるべきではない。